

■ 目次

■ 平成30年第1回定例会【3月】

予算特別委員会	2～3
提出議案・当初予算	4～5
補正予算・人事・陳情	6
一般質問	7～12

■ 議会トピックス

13

■ 議会の新たな構成

14～15

■ 議会だよりギャラリー

16



下郷町 議会だより

平成30年5月

第 **83** 号



4月29・30日の両日、桑取火地区で第14回かたくりまつりが開かれました。地域内の農地や山林の群生地を開放し、訪れた観光客は群生地を思い思いに巡り、可憐で綺麗な薄紫色のかたくりの花を楽しんでいました。

※写真は主催のかたくりの里「桑取火」実行委員会の皆さん

事業へ 2億3千万円

学校給食費の補助（1/3→全額）など

総額 67億7571万円を可決

予算特別委員会の質疑

平成30年度一般会計及び特別会計の6会計は、予算特別委員会を設置し、委員長に星輝夫議員、副委員長に湯田健二議員を選出。3月16日・19日の2日間にわたり審査しました。町政全般の予算に対し、数多くの質疑がありました。

問 森林環境税からの補助金基本枠400万円

は、環境教育や健康ウォーク事業等に助成されている。住民はこうした補助制度がなかなか見えない。途中からの補助申請はできないか。

答 年間計画の元で予算を立てているので、その時に事業計画書を出していたきたい。

問 プレミアム商品券の発行は、昨年同様ですが、

社会福祉の充実を掲げるなら、子育てや介護プレミアム券などの導入は検討されるのか。

答 本年度も6600万円の商品券を発行。子育てプレミアム券等は商工会の商品券事業実行委員会を検討していただく。

問 ふるさと応援基金を1千万円まで貯めてから

という町の事情でなく、教育のためにとか、福祉のために使って欲しいといった納税者の願いを速やかに結果で出していくべきではないか。

答 今後、少額でもできるだけ速く納税者の意思に沿った活用をしていきます。



広域消防署庁舎建設

高齢者タクシー助成の拡充（1万→1万2千円）

一般会計47億4700万円
特別会計20億2871万円

問

滞納家賃回収業務弁護士委託料として計上したのは、毎年回収出来ないの
で、法的措置を今年度行うためか。

答

これまでは督促状のみでしたが、今後は催促書等の送付を行い、滞納者の状況により、行うか決めます。

問

学校給食費無料化1950万円の財源が、ふるさと創生基金となっている。基金からだとは財源の枯渇のおそれがある。無料化を続けるのであれば、一般財源とすべきでは。

答

そのような考え方もある。検討します。

問

大内の農集集落排水施設で、これまで井戸水を使用し不平等感があつた。今回、メーター設置費用91万円計上されているが、個人負担はないのか。設置した場合、昨年に比べ使用料が月約20万円増える解釈でよろしいのか。

答

井戸水併用の13戸に限り、町が全額負担します。将来、井戸水を使用する場合は、個人負担となります。使用料は、234万円増額になります。これは汚水処理の年間処理量を把握しており、使用料に換算した額となります。

問

農業法人検討会謝礼金10万円について、どのような会をつくるのか。検討のの中身は。

答

農業振興と農業法人設立を検討する会です。構成は、農協・県・関係団体・農業者・一般農業団体となります。検討内容は、農産物の商品化、六次化・ブランド化、作業の受託、耕作放棄地の解消など。農業法人設立の是非も検討します。

問

高齢者タクシー助成の対象者数と実績は。

答

約1800名うち交付者823人で実績見込額は約500万円強です。

3月定例会

3月9日から20日にかけて3月定例会が開かれました。30年度予算、条例の一部改正、29年度補正予算など町提出議案33件、議員提出議案2件はすべて可決しました。

平成30年度一般会計の予算額は前年度比8300万円減の47億4700万円となりました。

特別会計の予算総額は、前年度比1億34278千円減の20億2871万2千円となりました。

一般会計

歳入

の主な増額要因は、広域消防署

庁舎建設に伴い、緊急防災・減債事業債などの増額から、「地方債（町債）」が前年度比6950万円の増となりました。また、財産収入であいづふるさと市町村圏協議会の基金廃止による出資金の返還も増額要因となっております。

減額の主な要因は、公営住宅建替事業費が減少し、補助

歳出

の主な増額要因は、広域消防署

金額の減少から、「国庫庫支出金」が前年度比1億5594万円の減となりました。また、財政調整基金繰入金の減も減額要因となっております。

庁舎建設事業に伴う負担金の増額などから、「消防費」が前年度比1億6220万円の増となりました。また、観光公社補助金の増額（着地型ツーリズムが移行）や学校給食費の補助金（全額無料）の増も増額要因となっております。減額の主な要因は、公営住宅建替事業費の減少および沼尾シェッド国直轄代行事業が終了したことなどから、「土木費」が前年度比4億853万円の減となりました。

【町提出議案】

提出された議案

- ▼専決処分（報告）
- ・損害賠償の額の決定及び和解
- ▼専決処分（承認）
- ・29年度下郷町一般会計補正予算
- ▼教育長の任命
- ▼教育委員会委員の任命
- ▼人権擁護委員候補者の推薦
- ▼特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- ▼下郷町特別会計条例の一部改正
- ▼下郷町携帯電話基地局の設置及び管理に関する条例の一部改正
- ▼下郷町国民健康保険条例の一部改正
- ▼下郷町国民健康保険税条例の一部改正
- ▼下郷町後期高齢者医療に関する条例の一部改正
- ▼下郷町小中学校入学祝金支給条例の設定
- ▼下郷町介護保険条例の一部改正
- ▼下郷町介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部改正

- ▼下郷町介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部改正
- ▼下郷町介護保険法に基づく指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部改正
- ▼下郷町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の設定
- ▼下郷町重度心身障害者医療費の給付に関する条例の一部改正
- ▼下郷町農業集落排水施設条例の一部改正
- ▼下郷町道路占用料徴収条例の一部改正
- ▼29年度下郷町一般会計補正予算
- ▼29年度下郷町特別会計補正予算（6件）
- ▼30年度下郷町一般会計予算
- ▼30年度下郷町特別会計予算（5件）

【議員提出議案】

- ▼予算特別委員会の設置に関する決議
- ▼福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出について

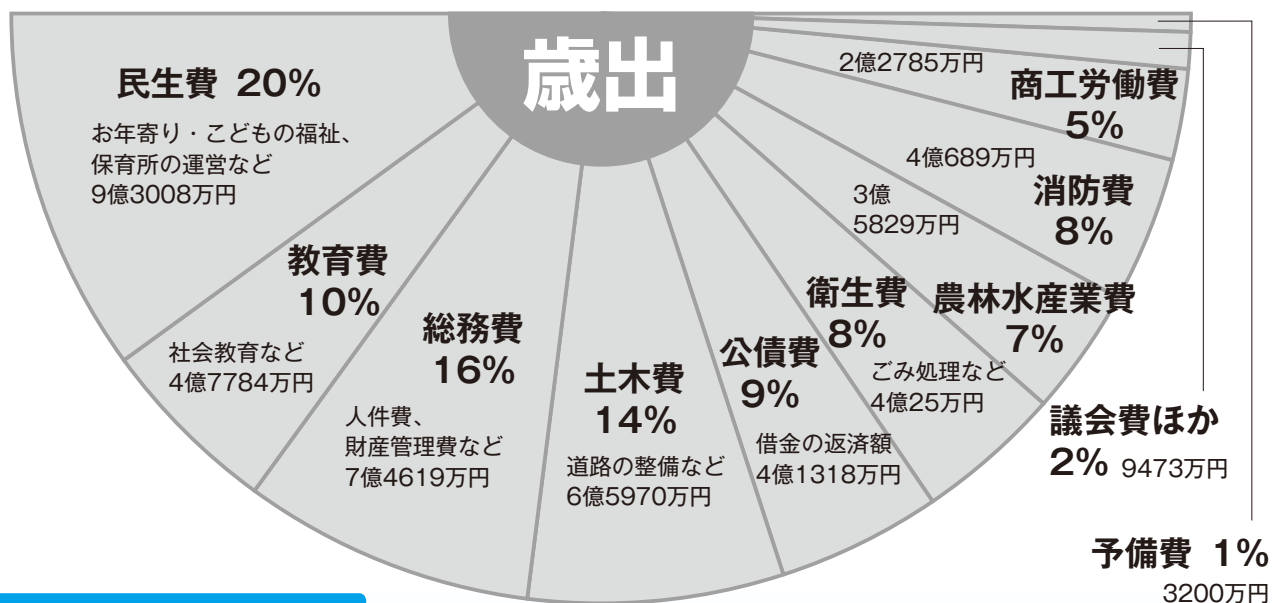
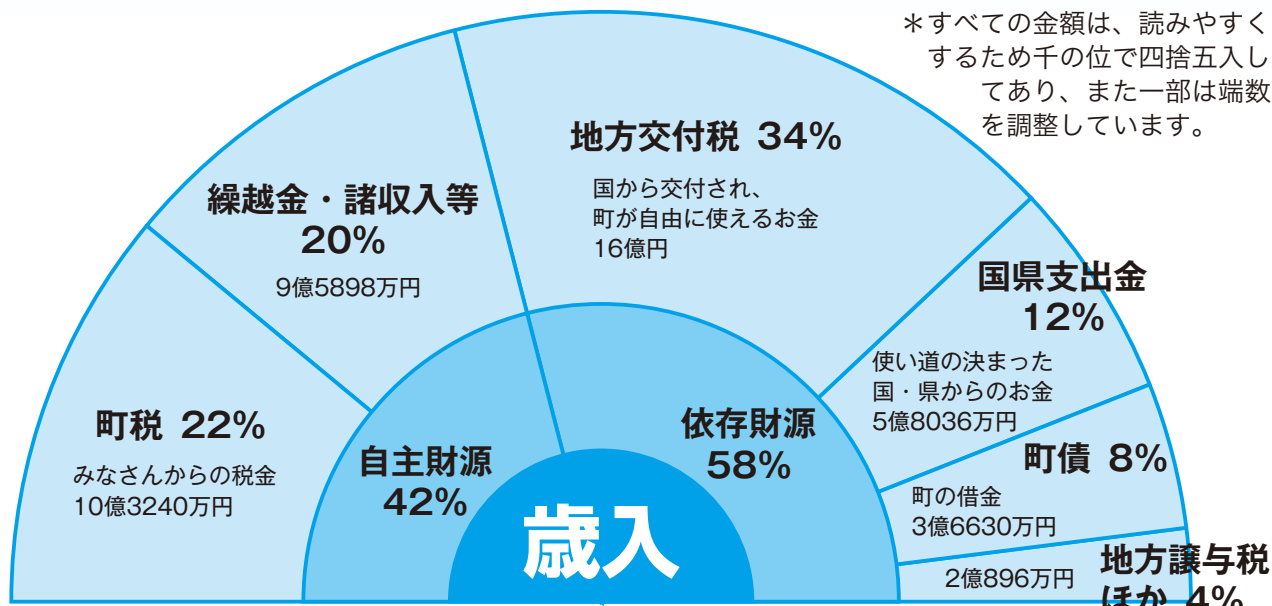
前年度比8300万円の減に

新年度予算

一般会計

47.47億円の 内訳

*すべての金額は、読みやすく
するため千の位で四捨五入し
てあり、また一部は端数
を調整しています。



平成30年度特別会計

▼宅地分譲事業特別会計は、全区画が売却となり廃止となりました。

特別会計	予算額	増減額(対29年度)	増減率
国民健康保険	8億3779万8千円	△1億5649万0千円	15.7% ↓
後期高齢者医療	7717万8千円	184万1千円	2.4% ↑
介護保険	8億8691万6千円	3294万3千円	3.9% ↑
簡易水道事業	1億9760万3千円	△713万4千円	3.5% ↓
農業集落排水事業	2921万7千円	69万9千円	2.5% ↑
宅地分譲事業	0円	△613万7千円	100% ↓
合計	20億2871万2千円	△1億3427万8千円	6.2% ↓

平成29年度一般会計予算

1億2480万8千円
を減額補正

補正
予算

総額 48億5599万3千円に

一般会計補正予算（3月補正）

▼歳入の主なもの

町税（入湯税）	△1,179千円
地方消費税交付金	5,839千円
体験農園施設使用料 （クラインガルテン）	△4,446千円
住宅費国庫補助金 （公営住宅建替事業）	△26,880千円
ふるさと応援寄附金	2,110千円
財政調整基金繰入金	△80,000千円

▼歳出の主なもの

農用地利用集積 推進事業補助金	△3,196千円
宿泊施設持続化 支援事業補助金	△9,420千円
公営住宅建替工事	△56,000千円
ふるさと応援基金積立金	2,110千円
教育施設整備基金積立金	10,000千円
橋梁整備基金積立金	10,000千円

今回の補正では、各事業における事業費が確定し、その清算により町予算全体に余剰金が出たことから、今後多額の支出が見込まれる教育施設整備や橋梁整備に係る基金積み立てを行う補正となりました。

60,783千円を繰越明許（平成30年度事業に繰越）

道路新設改良事業（町道沼尾1号線）	29,160千円
公営住宅建替事業（姫川団地）	31,623千円

人事

▼教育長

星敏恵氏（檜原）

の任命に同意

▼教育委員会委員

長沼千恵氏（弥五島）

の任命に同意

▼人権擁護委員

佐藤守孝氏（沢入）

の推薦に同意

陳情

◆福島県最低賃金の引き上げ
と早期発効を求める意見書
の提出

▼陳情者

下郷町大字豊成字林中60
90

児山正己 他1名

▼審査結果／採択

（産業厚生常任委員会付託）

▼意見書提出の議決

内閣総理大臣などに意見書
を提出することを議決した。

一般質問

一般質問は、3月14日に行われ、5人の議員が登壇し町政を質しました。

8ページより、質問した順に代表する質問の質疑応答を要約してお知らせします。

5議員が町政をたずねます

◆星 輝夫（8ページ）

- 簡易水道整備の進捗状況は
- 大雪時の除雪状況及び対策は
- 集落維持発展支援事業について

◆猪股 謙喜（11ページ）

- 下郷町観光公社補助金について
- エゴマ選別機の貸し付けについて

◆玉川 邦夫（9ページ）

- 決算カードから地方交付税・地方債の仕組み等について
- 人事評価制度について
- 生涯学習の推進について

◆湯田 純朗（12ページ）

- 町所有の公有財産の企業への貸借状況は
- 町有地内における児童の怪我について、その後の町対応は
- 会津下郷観光循環バスについて

◆小椋 淑孝（10ページ）

- 公共施設等総合管理計画について



“一般質問”は、町の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等について、町長などに所信や疑問をたずねることで、報告や説明を求めることを言います。



ここを問う

町政

星 輝夫議員の 一般質問

質問

水道未整備地区の進捗状況は

答弁

5カ年計画で進め事業全体を
勘案し早期着手に向け協議する

問

水道未整備地区の進捗
状況及び15年度の普及
率85・2%からどのくらいに
なったのか伺いたい。

答

現在、農村集落基盤再
編整備事業により、芦
ノ原地区、三ツ井地区の水道
整備、防災無線設備デジタル

質問

除雪ボランティアの方に 感謝状などを贈呈しては

答弁

県のボランティア作業もあり
これから県と協議していききたい

問

1月2月に急激な降雪
があったが、除雪体制
は万全であったのか。また、
住宅などへの被害防止や災害
予防等の対策は。

答

委託業者14業者、除雪
機械25台にて万全な体
制で対応している。住宅など
の建物がある民地の除雪対策
は、原則家主、地区住民のご
協力を得て対応している。緊

問

ボランティアで自主的
に自分の除雪機などで、
町道や歩道の除雪を行ってい
る方がいる。その方々に感謝
状や老人センターの無料入浴
券などを配布してはどうか。

答

県のボランティア作業
もあることから、県と
協議し感謝状などを交付でき

質問

高齢化により維持修繕が困難 町で取り組む考えは

答弁

現行の原材料支給を継続し
集落の現状を把握し検討していく

問

集落が取り組む水路、
維持修繕でU字溝入
れ、舗装工事などがあるが、
各集落では、高齢化となつて
いる。他町村では、工事費も
町で出しているようだが、町
で取り組む考えはないのか。

答

区からの要望により、
毎年予算に応じてU字
溝などを支給している。高齢
化で集落によつては、その管
理が困難になっているのは認
識しているが、水路等の原材
料支給費に比べ、同一箇所を
工事などで実施した場合、概
算額で約10倍近くの費用がか
かる試算となる。町負担が増
大し、受益者にも工事費の3
分の1の負担が生じるなどか
ら、現行の原材料支給による
対応は継続しつつ、各集落の
現状を把握し、住民サービ
スの公平性を保ちながら対応を
検討していきたい。

ればと思う。これから協議し
ていきたいので、ご理解をい
ただきたい。



町政

ここを問う

玉川邦夫議員の 一般質問

質問

地方交付税・地方債のしくみを
分かりやすく

答弁

財政の健全性について
理解しやすい表現に配慮

問

「震災復興特別交付税」がある。本町も4千万円程いただいている。使い勝

手のいい交付税ではあるが、具体的な予算配分について町長に伺いたい。

答

特定ではなく、一般財源として扱っている。

観光協会補助金、風評被害対策、復興特区による減収額の計上。今後は、防災教育にも復興基金等を活用していきたい。

質問

個々の能力を伸ばす人事評価制度

答弁

特定事業主行動計画で
女性の能力発揮を

問

人材育成と仕事の効率化をめざす人事評価制度について、職員研修は行われているのか。自らを振り返らせる研修こそ、職務改善の

答

第一歩だと思うが、町長はどう考えておられるか。
スタートの昨年は5回、今年是新採用職員に実施。町民への奉仕、公務員と

問

地方債(借入金)現在高は十年間を見ても40億円のまま推移している。難しい指標を示しても、住民には理解できない。地方債には、国が100%補填する※臨時

財政対策債が含まれているなど、安心できる情報提供の工夫はできないか。

答

臨時財政対策債などを含めた地方債残高などの公表内容を見直し、財政の健全性について町民に理解しやすい表現に配慮したい。

質問

生涯学習充実のための人材育成は

答弁

職員の資格取得や
社会教育主事の養成に努める

問

国は人件費補助の見直しや事業の定着度から、社会教育主事の派遣を無くした。幸いに、本町では有資格の方に長くお世話になっている。

大事な社会教育施策を進める上で、今後も有資格者の配置や研修の機会を与えてあげる必要があるが、生涯学習に対する町長の考えを伺いたい。

答

青少年の育成やスポーツ活動の推進、男女共同参画など生涯学習の役割は、町にとっても大切な事業である。国でも養成の見直しを図っている。新制度の移行を見極めながら、職員の資格取得や社会教育主事の養成に力を入れていきたい。

問

政府は「働き方改革」で女性管理職の比率アップの目標を掲げ、女性ならではの視点からの変革を期待している。女性の管理職登用

答

女性管理職の割合は、27年度は16・7%、28年度25%、29年度15・4%。会津管内でも上位にある。町は特定事業主行動計画を策定し、能力発揮や活躍を推進している。

※臨時財政対策債…本来国が配分すべき額を町が変わって借金し、後で国に100%補填してもらうので、そのために一時的に借金総額が増える結果となっている。

小椋淑孝議員の
一般質問

質問

劣化の激しい旧寄宿舎を
改修や解体する計画はないのか

答弁

補助の処分制限期間があり
当面はこのまま使用する

問

昨年、下郷町公共施設等総合管理計画が配布され、目的として公共施設の全体把握をもとに、将来のまちの姿を見据えながら、戦略的かつ計画的に統廃合・長寿命化・更新等を行うことにより、コストと便益の最適な状態で保有、運営維持する公共施設マネジメント推進の方針を策定すること。

また、今後の公共施設の個別計画における指針となる計画に位置づけるとされているが、現在、数多くの公共施設があり、建物の用途や使用頻度などによっても傷み方は変わってくることや、想定外の修繕も生じることもあり、計画的に進めていくのも困難ではないか。

中学校のところにある旧寄

宿舎は、コンクリートが劣化

し、破片が落下してきている状況である。フェンス設置が行われているが、子供たちの安全性を考慮して急務なものと理解しているが、この建物は大規模改修や建替え、もしくは解体撤去となっていく建物ではないか。

町の計画として、この旧寄宿舎を改修、解体といった計画はあるのか、また大規模改修や建替え、解体といった施設、建物はどのくらいあり、いつ頃から取り組むのか、町の財政事情も厳しいことは承知しているが、財政事情を理由に放置せずに、再利用を視野に入れて、町振興施策につなげていくべきではないかと考えるが、町長の考えを問う。

答

旧寄宿舎を改修、解体といった計画はない。

昭和48年度に完成し、平成9年まで冬期間の寄宿舎として利用してきた。建設から45年が経過し、コンクリートの劣化が目立ち、ひび割れや剝離により一部が落下している。平成29年度は、子供たちの安全対策としてフェンス設置を行った。



老朽化が激しい旧寄宿舎

現在は、物置と文書庫として使用しており、多くは非常用備品の毛布と廃校になった学校の備品など入っている。旧寄宿舎の建設に当たっては3千2百万円の国庫補助を受け処分制限期間があり、鉄筋コンクリート造の建物は60年とあり、あと15年は処分制限がある為、解体撤去となると補助金を返還しなければならぬ。概算で約8百万円となるため、当面はこのまま使用していく。

問

劣化が激しい建物だが、残り15年そのまま立っていることは難しいと思うが、修繕は行わないのか。安全性を考慮して、通行止めなどの対策は行うのか。

答

厳しい建物であることは認識している。平成29年度はフェンス設置で安全対策を行った。今後は財政事情を考慮して対応していく。通学路として安全対策は行っていく。



ここを問う

議員の
猪股謙喜の
一般質問



質問

下郷町観光公社への補助金の使途は

答非

観光公社と下郷駅の運営に
新年度から着地型推進事業にも

問

問 30年度予算で約429
1万円、昨年度より約185
8万円の増となっている。そ
の使途は。

答

答 補助内容は、運営に対して1780万円、下郷駅の運営に580万円、百

万年ウォークなどの着地型ツリーズム推進事業に1931万円となっている。着地型については、今まで商工会に委託していた事業である。今後とも継続していきたいので、財を確保し、観光協会とも一緒に事業を行いたい。

問 公社への補助金圧縮のために、町はどのような事をしてきたのか。

答

答 公社の理事会で、経営改善を促してきた。それほどまづりの実施、弁当などの宅配事業、マスの料理講習会の開催など経営努力が形として見えてきた。私（町長）も公社の理事長として、公社職員に経営努力、経営改善を申し上げておきたい。

質問

町でエゴマ選別機を購入し
貸付してはどうか

答非

エゴマ生産者のみに選別機の
購入・貸付は難しい

問 エゴマの選別には、大
変手間がかかる。選別
機を購入・貸し付けするこ
とで、手間の軽減を図ってほ
うか。

答

答 他の振興作物等を営農している生産者も多い。現状では、エゴマ生産者のみに選別機の購入・貸し付けは難しい。国・県の補助事業等があるのか、サポート事業があるのかを含めて検討したい。





ここを問う

町政

湯田純朗議員の 一般質問

質問

公有財産を企業へ
貸し付けする契約状況は

答弁

黒字経営の基準がなく、今後
公有財産審議会を踏まえ検討する

問

旧南小学校跡地に、
(有)南会津高原ファーム、(株)香精、旧役場庁舎跡地には、レジデンスふじの郷がある。これらの契約状況は、町には貸付に関する賃料規定はあるのか。

答

3社ともに同じ条件で契約を締結。賃借料は、貸付開始から5年間を無償、その後は町と協議して決める。

問

昨年の9月12月の定例
議会でも質問したが、その後の実績及び効果はどのような数字で結果はどうだったのか。また、以前の町長の答弁は、バス運行を含め今後検討していくと答弁された。どのような検討がなされ、新年度予算に反映されたのか。

答

4月22日から11月19日までの70日間で、延べ利用者732人、乗車券販売額46万5210円である。10月11月と後半の利用者が増

質問

町支出を少なくする考えで
観光循環バスの見直し検討を

答弁

昨年に比べ
約40万円の支出減となる

答弁

まだ示談には至っていない
誠心誠意対応していきたい

質問

榎原小女子児童のけがについて
示談には至っていないのか

問

既に10カ月が経過しているが、その後の町の対応は。また、示談に至っていないとすれば今後どのような対応をするのか伺いたい。

答

まだ示談には至っていない。町の対応は、お見舞いを兼ねけがの治癒状況確認のため、訪問を担当職員が14回、電話確認3回、うち



答

昨年より約100万円の支出減だが、新しく冬の間の2次交通の充実を図るため、約50万円計上、差し引き40万円程度の支出減となるので、ご理解をいただきたい。

問

目的は大きくもつても、町の支出はなるべく少なくするという考えで、見直しの検討をしてほしい。

町村議会議員研修会

地方分権で拡大する議員の責任

2月1日

郡山市ビッグパレット



1 地方分権時代の自治体議会改革

講師：牛山 久仁彦 氏（明治大学政治経済学部地域行政学科長・教授）

2 「3選」「改憲」「アベノミクス」

……難題に直面する安倍1強政権

講師：泉 宏 氏（政治ジャーナリスト）

福島県町村議会議長会の主催により、平成29年度福島県町村議会議員研修会が開催されました。

地方分権の意義や課題、自治体議会の特徴や議会を取り巻く環境など様々な視点から、全国各地の地方議会が抱える問題点や今後の安倍政権、政治日程予測について講義がなされました。

国道118号道路改良促進期成同盟会中央要望



2月13・14日

国会議員会館

国土交通省 財務省

◆道路整備
予算の確保

◆小沼崎バイパスの
早期完成

◆鳳坂峠トンネルの
早期完成

【要望事項】

会長 天栄村長 添田 勝幸
理事 天栄村議長 廣瀬 和吉
理事 副議長 後藤 修
天栄村議会 産業建設常任委員会
理事 委員長 揚妻 一男
理事 委員 円谷 要
理事 沿線議員 小山 克彦
監事 副委員長 服部 晃

【要望先】

◇参議院議員

森 まさこ
岩渕 友
佐藤 正久
増子 輝彦
根本 匠
上杉謙太郎
金子 恵美
吉野 正芳
(敬称略)

◇衆議院議員

副会長 下郷町長 星 學
理事 下郷町議長 佐藤 勤
理事 副議長 佐藤 盛雄
下郷町議会 産業厚生常任委員会
理事 委員長 星 輝夫
理事 委員 室井 亜男
理事 委員 猪股 謙喜
理事 委員 小椋 淑孝
監事 副委員長 湯田 純朗

【要望先】

◇参議院議員

森 まさこ
若松 謙維
山口 和之
室井 邦彦
亀岡 偉民
玄葉光一郎
小熊 慎司
菅家 一郎
(敬称略)

◇衆議院議員

この期成同盟会は、下郷町・下郷町議会産業厚生常任委員会と天栄村・天栄村議会産業建設常任委員会とで構成しています。

13日は、全議員で参議院議員の森まさこ議員へ表敬訪問し要望を行いました。その後、天栄村と下郷町に分かれ、福島県選出国會議員へ要望活動を行いました。14日には所管となる国土交通省と財務省へ要望を行いました。

新体制で町議会がスタート

新議長に 佐藤 盛雄氏、新副議長に 小玉 智和氏 を選出



平成30年3月定例会において、すべての議案の審議が終了後、議会の構成がえが行われ、新しい体制が決定しました。

選挙の結果、新議長に佐藤盛雄氏、新副議長に小玉智和氏が選出されました。

また、各常任委員会・議会運営委員会の構成の変更や、一部事務組合議会議員などの改選も行われましたのでお知らせします。

議長就任あいさつ

このたび、議員各位のご推挙を頂き、議長の要職を担うことになり、その職責の重大さに身の引き締まる思いを致しております。

地方政治家を志して三十一年、政治の原点は「強きを挫き、弱きを助く」の政治理念は現在も変わっておりません。

二元代表制度で、執行権の対岸にある議会の役割は、「チェックアンドバランス」の機能を十分に発揮することが重要であり、町の振興政策や、町民福祉の向上など、重要案件に対しては、推進エンジン役を果たして行かなければならないと思います。

現在、国道二八九号南倉沢バイパスが今秋の供用開始をめざし、急ピッチで工事が進められ、会津縦貫南道路の湯野上バイパスが本格化し、道路網の整備が一段と促進されております。交通アクセスの利便性を生かした、観光誘客・農林業の振興・商工業の振興等を強力に推進して行かなければならないと思います。

また、少子高齢化の現状をいかにして解決するか、若者の定住策をいかに提案してゆくか、議会に課せられた課題は大きいと思います。

町民の皆様の声や要望を良く聞き、活発で円滑な議会運営に心がけ、研鑽努力してまいりますので皆様のご指導をお願い申し上げます。

下郷町議会議長 佐藤 盛雄

新しい委員会構成

総務文教常任委員会

総務課、税務課、出納室の分掌に属する事項及び教育委員会に所属する事項の調査や、これに属する議案・陳情等の審査を行います。

委員長

副委員長



湯田 健二



玉川 邦夫



星 政征



佐藤 勤



山名田久美子



佐藤 盛雄

産業厚生常任委員会

町民課、健康福祉課、産業課、建設課の分掌に属する事項及び農業委員会に属する事項の調査や、これに属する議案・陳情等の審査を行います。

委員長

副委員長



小椋 淑孝



室井 亜男



猪股 謙喜



星 輝夫



湯田 純朗



小玉 智和

議会運営委員会

円滑な議会運営のため、会議規則や議長の諮問に関する事項等の調査を行い、議案や陳情等を審査します。

【委員長】星 政征（議長経験者）

【副委員長】湯田 健二（総務文教委員長）

【委員】小椋 淑孝（産業厚生委員長）

【委員】小玉 智和（副議長）

議会広報常任委員会

議会だより及び議会ホームページの作成のための調査・研究、編集を行います。

【委員長】山名田久美子

【副委員長】玉川 邦夫

【委員】猪股 謙喜

【委員】小椋 淑孝

その他の所属機関等

南会津地方広域市町村圏組合
議 会 議 員

佐藤 盛雄
佐藤 勤
星 輝夫

南会津地方環境衛生組合
議 会 議 員

佐藤 盛雄
湯田 健二
室井 亜男
湯田 純朗

下郷町公有財産審議会委員

湯田 健二
星 政征
小椋 淑孝
猪股 謙喜

議会だよりギャラリー

議会とまちのうごきを
写真でレポート

= 東湖神社春の祭礼 = (塩生)

伝統行事を継承する



御党屋を出発

3月、4月は各地区で祭礼が実施されます。村中安全、五穀豊穡…1年のスタートでもあります。

今では、各家庭でごちそうを振る舞ったり、子どもたちが神社境内を走り回ったりといった賑わいは無くなりました。

しかしながら、祭り当日、御党屋から神社まで七行器行列が伝統として引き継がれているところもあります。

地元の味でおもてなし

戸赤の 「やまざくらまつり」

4月29・30日の両日、戸赤元気な村づくり実行委員会主催により開催されました。

今年は例年より早い桜の開花となり、山菜や手打ちそば、はな豆やしんごろうなどの地場産品でおもてなし、約500名の観光客やカメラマンが里山の春を満喫していました。

今年は、地域連携により中山地区の皆さんが29日限定ピザを出店しまつりを盛り上げました。また、桑取火のかたくりまつりも同日開催されました。



たらの芽を下処理する皆さん

議会からのお願い

議会だより取材のため、議会議員（広報常任委員）が写真撮影に伺うことがあります。ご理解とご協力をお願いいたします。

議会を傍聴しませんか

町議会定例会は3月・6月・9月・12月に開かれます。
お問い合わせは町議会事務局（69-1123）まで

議会広報常任委員会

委員長	山名田	久美子
副委員長	玉川	邦夫
委員	猪股	謙喜
委員	小椋	淑孝

今後委員会と議会事務局
連携で頑張りますので、よろ
しくお願いいたします。
(山名田 久美子)

毎年、県や全国の広報研修
会に参加し、住民の方々に
「より早く、わかりやすく」
を合言葉に作成に取り組んで
います。

この度、議会構成がえがあ
り新体制のもと議会広報常任
委員長に選任されました。委
員会のメンバーに変更はな
く、不慣れな私ですが心強く
感じています。

編
集
後
記